



小野 曜子

質問

一時避難所にも発電機の設置は

町 順次設置の必要がある

問 指定避難所だけでなく、身近な公民館などの避難所に、非常用発電機を設置する考えは。

答 身近な一時避難所、指定避難所として33か所あり、ここに順次設置の必要がある。また、地区の自治公民館などは、自主防災組織補助金を配備に活用して欲しい。

問

今回、農家が申請しないと復旧工事が始まらない。町からの工事申し込みの通知が来ると見込んでいた農家が多数存在する。なぜ全ての農家向けに直接、周知徹底をしなかったのか。

答 被災報告のあった農家へは補助金申請書を郵送している。今後、周知について検討していく。

問 離農を防ぐため、国の補助外の40万円以下の復旧工事、農地、水路などの補修が重要だが補助率は。

答 町単独事業で補助率は農地が8割、農業用施設は9割である。



伊王野基幹集落センターに常備されている発電機

質問

旧伊王野小学校舎の解体時期は

町 令和3年度以降で計画

問 伊王野では旧小学校跡地の有効利用を要望している。旧校舎の解体の時期は。

答 令和2年度に解体工事に係る設計業務を行い、解体工事は令和3年度以降で計画をしている。

問 旧美野沢小学校の跡地利用決定の教訓は。

答 今後は早期の学校跡地の有効的な活用並びに地域の活性化が図られるよう、さらに調査研究を行っていく。

問 旧芦野小学校の利用は。

答 町が示した高齢者福祉施設の整備、特別養護老人ホームの整備におおむね理解を得られた。

問

旧那須小学校の地元からの要望は。

答 地元からの要望は特にならない。今後、地元の方と意見交換を行い、それらの意見を参考に跡地利用について検討を進めていく。



解体工事が待たれる旧伊王野小学校舎



◀ この一般質問の映像はこちらから

● ほかに「お年寄り安心コールについて」の質問もしています。